

武蔵野公会堂改修等工事に関する入札手続の中止について

武蔵野公会堂の改修等工事については、イラン・中東情勢の悪化に伴い、公共工事の先行きの不透明さが高まっていることを踏まえ、令和 8 年 4 月 24 日に入札手続を中止することとしたので報告します。

1 入札手続中止の理由

イラン・中東情勢の悪化に伴い、資材価格の高騰や、資材調達の不確実性などにより公共工事の先行きの不透明さが高まっており、石油由来の主要建築資材の供給不足が発生し始めている。これらの資材が入手困難となった場合、工事着手が遅延するとともに、工期の延伸も想定される。さらに、資材調達の遅延により、契約締結後も工事が途中で停止するリスクも懸念される。

こうした価格高騰や工期延伸に伴い、事業費が当初見込みから大幅に上昇することも想定される（予算ベースで約 35 億円）。当初計画どおりに工事が竣工した場合でも、武蔵野公会堂の残存使用期間は約 17 年間であり（築 80 年まで使用すると想定）、限定的な利用期間に対して事業費が大幅に増額することについて、市民の理解を得ることは困難であると判断した。

なお、当面の間は施設を閉館し、改修方針を改めて検討していく。

2 これまでの経過

令和 2 及び 3 年度	耐震診断及び劣化状況調査
令和 4 年度	武蔵野公会堂の改修等に関する有識者会議設置
令和 5 年 4 月	武蔵野公会堂改修等基本計画 公表
令和 5 年 11 月	公募型プロポーザルにより設計事業者選定
令和 6 年 7 月	基本設計案 公表
令和 8 年 1 月 27 日	武蔵野公会堂改修等工事 入札告示
令和 8 年 1 月 28 日	電気設備工事、機械設備工事及び舞台特殊設備工事 入札告示
令和 8 年 4 月 24 日	武蔵野公会堂改修等工事を含む全 4 件 入札手続中止決定

担当課 総合政策部企画調整課
総合政策部資産活用課
市民部市民活動推進課
財務部施設課